

The Baltimore Times

Fryday, August 11, 2006

4th EDITION FREE

Ayako Kawasumi Appeared in OTAKON

2006年8月4～6日にアメリカボルチモアで行われたOTAKONに声優の川澄綾子氏が出演した。

川澄氏は8月4日に現地入り、5日にOTAKONに出演、6日には帰国という旅行スケジュールだったため、残念ながら、パーブルースやアメリカ国歌が生まれた地として知られるボルチモアの観光をする時間はほとんどなかったようだ。しかし、肝心の仕事の方はきっちりこなし帰国した川澄氏。本紙は川澄氏のOTAKONでの活躍について報告する。



(C) Love One's Home

発行 Love One's Home
発行日 2006年8月11日
無断転載は御遠慮願います



川澄綾子ファンブック8
「えくすかりばあ」近日発売！
川澄綾子ファンブック3～7、
別冊2 & 4も絶賛発売中！

PONY CANYON STYLE
まるなび!? 放送100回記念
公開録音、8/12に文化放送新
社屋にて開催！

Ayako Enchanted Otaku also in the United States

まずは川澄氏が現地時間5日午前11時に出演したトークイベントの様相を紹介しよう。

開演時間になるとまず、夢使い、おくさまは女子高生、サムライチャンプルーの3作品のプロモーション映像が上映された。

その後、通訳兼司会が川澄氏の出演作を紹介。アウトロースター、lain、頭文字D、星界の紋章、まはろまで、うつく、ゲートキーパーズ、クラウ、おねがいティーチャー、ラーゼフォン、PIANO、おくさまは女子高生、サムライチャンプルーなどに出演していることを紹介。

星界やまほろまでいくつかの紹介をしたところでの拍手が大きかった。

いよいよ川澄氏が浴衣姿で登場。客席から大きな拍手が沸き起こる。

川澄(以下、綾): みなさんこんにちは、川澄綾子です。日本で声優をやっています。日本のアニメがこちらですごく人気ということは知ってはいたんですけども、今回ボルチモアに来て、ここまでみなさんのアニメへの熱い気持ちを肌で感じる事ができて、とても光栄です。みなさんはコスプレがあまりにも素晴らしくて、それが一番の驚きで

した。みなさんカッコいいと思います。

ここで観客から拍手。

綾: 私がやっているアニメーションのキャラを皆さんご存知ですか?

観客から歓声上がる。

綾: 特に何が好きとかありますか?

観客: (日本語で) 星界の紋章

綾: 星界の紋章! 星界の紋章を好きな人!

観客から歓声&拍手。

綾: あの作品はですね、私がアニメをはじめてまだ1年くらいの時の作品で、デビュー作はアウトロースターという作品だったんですけど、その作品がとてもかわいらしくてはかない女の子だったんですけども、星界の紋章のラフィールは、おじょう…お嬢様じゃない(笑)、王女様ということで、自分にとっての自信につながった、ターニングポイントになったような作品なので私も思い出深いです。先ほどインタビューを受けてきたんですけども、そちらの方もラフィールが一番好きと言ってくださって嬉しいなと思います、ありがとうございました。

Questions from Otaku

司会からの質問もそこそこに観客からの質問コーナーに。「おっかい声でしゃべってください」と観客に呼びかける川澄氏。

観客1：メルフィナをやっている一番好きだった人は何でしょう。

綾：好きだった人…うーん、まずは一番最初のアニメーション作品ということで、何をやっても驚きで一緒のキャストの皆さんがベテランの方も多かったのですが、まず、アニメの口パクにみんなが何にも見てないのに合わせられることが、「どうやっているんだろう？」っていうのが一番最初の驚きで、自分は毎週毎週居残りをして収録をしてました。あと、テレビから流れてくる自分の声が自分の思っている声と全然違ったのが一番驚きました。

観客2：おくさまは女子高生のオープニングの振り付けのデモをしてください。

綾：(笑) …もう、ちょっとしか覚えてないです。(手をLの字にして) Love Loveの「L」

観客3(女性)：(日本語で) アルジェントソーマ、すごく大好き。

綾：ありがとうございます。

観客3：神無月の巫女で色々感情的にショッキングな展開が多いと思いますが、そんな中で一番川澄さんがお気に入りのシーンはありますか？

綾：私はあの作品のオーディションを受けた時に、自分の役が姫子ちゃんを好きになる

役だと思ってなくて受けたんですよ。収録がはじまって、まさかそんなことになるのは、と思ったんですけども、お話自体は本当に切ないお話で大好きな作品でした。お気に入りのシーンはですね、ソウマ君という男の子が、あまり強くないというか、あまり使えない男の子で、その子を…(以降、大音量の着メロを鳴らす輩がいたため聞き逃してしまった。申し訳ない)

観客4(女性)：アフレコをする中で一番難しいところはどういうところでしょうか。

綾：アニメーションならではの表現で、例えば1カット前はアゴがはずれてたりとかものすごくギャグをして、次のシーンではすごく真面目なお芝居をしないといけないとか、すごくデフォルメされたところとか、感情の起伏が激しいところとか、そのテンポ感についていくのが一番難しいですね。あと、自分がこうしたいと思うお芝居があったとしても、絵がお芝居をある程度しているのだから、それに合わせていかに自然に聞こえるか。私はキャラクターの声を演じてはいますが、キャラを作り上げたのは原作者であったり、監督であったり、スタッフの方々なので、その意図をいかに汲んで、よりみなさんが思うそのキャラクター像に近いものに仕上げるかということが一番大切に考えています。一番難しい、ところですね。

観客5：今まで演じてきたキャラクターの中で一番好き

なキャラクターは何ですか。また、声優としてどのような役を演じていきたいですか。

綾：今までで一番好きな役はサムライチャンプルーのフウです。

納得の観客から歓声と拍手が送られる。

綾：今まで10年近く声優としてお仕事をしてきたのですが、自分として明確にこうやりたいというビジョンという、こういう役がやりたいというのは今まであまり言わないようになってきて、私が常に思っているのは、スタッフの方がこういう役を私に演じさせてみたら面白いんじゃないか、そういうふうになっていただけるように常に自分の中であまり思い込まないように役に対しても「この役はこうだ」と作り込んだりしないようにして、常にニュートラルな状態で…一つの作品をみんなで作りあげていきたいなと思っています。

観客6：ラフィールの声で「ラフィールと呼ぶがよい」と言ってください。

綾：立った方がいいかな「ラフィールと呼ぶがよい！」

一際大きな歓声と拍手が響きわたる。

観客7：今後の音楽活動についてどう考えていますか。

綾：そうですね、もう自分のアルバムという感じでは…機会があればやりたいとは思いますが…私はやはり声優なので、そこのお仕事の時間をちょっとでも割ってしまうの

は嫌なので、まずそちらが、自分にとってすごく自信が持てたりとか、多分一生やりきったと思うことはないと思うんですけども、まずそちら。まず自分の声優としての仕事をやりたいので、今のところ新しいものは考えてないです。

観客8(女性)：(日本語で) はじめまして。

綾：はじめまして。

観客8：アニメのPIANOをやった楽しかったことは何ですか？

綾：あれは、作品のお話の時点で、私がピアノを小さい頃から習っていたこともあり、美雨というキャラクターの設定というわけではないんですけども、小さい頃どういうふうにピアノを練習していたのかとか、そういうことを脚本とか企画の段階から参加させていただくことができ、話の最後に声をあてるということではない関わり方をした作品でした。作品すべてにおいて作業がとても楽しい作品でした。

観客9：(日本語で) ポクは川澄さんの大ファンです。ピアノはいつから弾くようになったのですか？

綾：ピアノを弾くのは物心ついた時から気づいたら弾いていたので、生活の一部のようになっていました。声優になっていなかったら、ピアノの先生をしていただろうなあと思います。

観客10：見ていたアニメと

かありますか。(日本語で) アト、ソレカラオ願イガアリマス。(ステー

ジに上がって綾子さんに一言
言いたいと言って、通訳の人
にダメって言われたようで、
ステージの下から)

(日本語で) ポクとツキアッ
テクダサイ

綾: (笑)

観客 10: (日本語で) マエカ
ラ好きデシタ。

ここで一部の客が爆笑。通訳
が英語に訳したところで観客
全体が大爆笑に。

綾: ごめんなさい。

しっかりと断る川澄氏。

綾: じゃあ、質問に答えま
す。小さい頃からアニメは
好きで、結構見ていて、一番
好きなのはドラゴンボールで
す。ドラゴンボールが大好き
でずーっと見てて。あとは小
公女セーラという作品が好き
でした。今はあんまり自分の
作品を確認のために見るとか
ぐらいしかしないです。ジブ
リは見ます。

観客 11: たくさん仕事をさ
れていますがスケジュール調
整はどうしているんですか。

綾: スケジュールは、忙し
い時はあるんですけども、マ
ネージャーがうまいことかぶ
らないようにやって、一応自
分の時間もあるようにしても
らってますので大丈夫です。
安心してください。

観客 12: 「えっちなのはいけ
ないと思います」と言ってく
ださい。

綾: (席を立って) いきます。
「えっちなのはいけないと思
います！」

またもや大きな歓声と拍手に
つつまれる。

観客 13: 共演していて楽し
い方はいますか？

綾: うーん、みなさん楽しい
方ばかりですけど…関智一さ
んとか…

歓声上がり拍手が起こる
が、アメリカでの彼の評判は
いかなるものなのか？

観客 14: 川澄さんはアニメ
の声だけでなくゲームの声も
やっていますが、ゲームの
声をあてることについてどう
思っていますか。

綾: ゲームのお仕事の方は基
本的にずっと一人で収録する
ことが多くて、例えば大勢で
しゃべってるシーンでも大抵
自分一人で、この人はこうい
うセリフを言うのかなあと想
像しながらやることしかでき
ないので、アニメだと反応
がダイレクトにくるというか
相手役のお芝居によって自分
のお芝居も変わるので、そこ
にお芝居が生きてくるという
か、ライブ感が生まれて、相
手によって全然変わってくる
ので、やっぱりゲームの仕事
よりアニメの仕事の方がして
いて楽しいです。

観客 15: (日本語で) はじめ
まして。

綾: はじめまして。

観客 15: 星界の続きは作ら
ないのでしょうか。

綾: みなさんが応援してくだ
されば、原作が続く限りはや
りたいとスタッフも言ってお
りますので、応援してくださ
れば可能性は十分あると思
います。

観客 16: 京都アニメシヨ
ン版の Kanon は以前のもの
と比べてどうですか？

綾: えーと、残念ながらまだ
収録していません。

川澄氏自身の京アニ版
Kanon への出演に関して公
の場で触れたのはこれがはじ
めてか。それにしても、出演
するともしないとも言ってい
ない絶妙な回答である。

観客 16: えー、それでは「薫
さま」って言ってください。

綾: (席を立って) 「薫さま、
ふつつかものですが、よろし
くお願いします」

観客 17 (女性): 川澄サン
ノ声ガトモ素敵ダト思イマ
ス。

綾: ありがとうございます。

観客 17: 風邪をひいたりし
ないで声を保つために、何を
していますか。

綾: 冬のインフルエンザの流
行る時期には必ずマスクをす
るぐらいで、あとは何も気をつ
けてません。喉は生まれつ
き丈夫みたいです。でもうが
いと手洗いをしてください。

観客 17: (日本語で) ありが
とうございました。

綾: ありがとうございます。

観客 18: (日本語で) はじめ
まして。アメリカへようこそ。
先ほどからキャラクター作り
は共同作業、という話を繰
り返しされていたと思います
が、自分がこのキャラクター
をどう考えるのかについて他
のスタッフ達の考えというの
はどのように聞いているので
しょうか。

綾: そうですね、まず、例
えば原作のあるものだと自分

なりに考えて作ってはいくん
ですけども、あまりにもこう
だって思い込んでしまった場
合、それが違った、例えば監
督がそうではない解釈をして
いた場合、作り直すのが大変
になってしまうんですね。
なので、ある程度の…、自分
はアウトライン、骨格だけ考
えて、あとはほとんど作って
いかないように、考えていか
ないようにしています。声も、
私はもともと…ちっちゃい
役とかだったら声を作ること
もあるんですけど、自分は基
本的にそんなに声を変えてお
芝居をしているというもので
はないと思うので、変わって
みえろとしたらそれはきっと
キャラクターが違うからとい
うことだと思うんですよ。な
ので、そんなに、私は確かに
その声を演じていますが、そ
のキャラのことが一番分か
ってるわけではないという、一
番分かっているっていう気
持ちも持っているんですけど
も、そうじゃない面も持つ
てないとひとりよがりになっ
てしまうと、考え方っていう
のは人それぞれなので、あん
まり思い込むとかえって危険
かなっていうことを思いなが
らやっているのを共同作業だ
なっていうことを忘れずにや
るようにしています。

観客 19: 苺ましまろの中で
自分の子供の頃に似ていたの
は？

綾: そうですね、苺ましま
ろの中では、私は自分の演じ
た茉莉が一番似てました。今
となっては面影がないかもし
れないですけども、とにかく
泣いてばかりの子供だったので、
茉莉が一番似てるなあと
思います。

観客 20: 自分が日本に行ったり、仕事相手に日本人がいたりするのですが、日本の女性は特定の男性に対すると声のピッチが高くなるのはどうしてなのでしょう？

綾: 自分自身もそうなると思うんですけど、うーん、何ですかねえ、女性は、分かんないんですけど、よく見られたい相手の前では声が高くなるもんじゃないんですか。日本人にかかわらず。

観客 21: まほろを演じて一番楽しかったことはなんですか。そして、(日本語で) えっちなのはいけなと思いますか？

綾: まほろを演じて一番楽しかったのは、そうですね、まほろさんはアンドロイドなんですけれども、喜怒哀楽がとても激しくて感情豊かそこで演じていて一番楽しかったですね。それでいていつかは消えてしまうという悲しさもある、とてもお話としても悲しいお話でしたので、まほろさんの役は私が今まで声優としてやってきたいろんな役の

要素が一つの役にギュッとつままったような役だったので演じていてとてもよかったなあと思います。えっちなのがいけないかどうかについては、その、TPOをわきまあればいいんじゃないでしょうか(笑)

観客 22: (川澄さんは声優なのに主題歌を歌っていることや、歌詞を書いていることについての質問)

綾: 主題歌の歌詞を書いたことは、主題歌？キャラクターソングの歌詞を書いたことは3回くらいだったと思うんですけども、それは演じてるからきつと演じてる人ならではの詞が書けるだろうということで書かせていただいたんですけども、とてもいい経験になりました。でも、アニメのキャラクターソングというのはホントによくできていて、お仕事として大好きなんですけども、私は声優としてその役を演じたのも何かの縁で、私が声をやったからこそ歌える歌ということで、一つ一つ大事にして、特にセリフが



(C) Love One's Home

入った歌とかは声優ならではのとても大好きです。自分も小さい頃、声優さんがアニメの歌を歌っているということがとても好きだった覚えがあるので、自分もそういう仕事できていてとても幸せです。

ここで時間が来たのでトーク

イベントは終了となった。

日本のイベントでここまで質問責めになることはないだろうし、加えて海外でのイベントということで緊張されていたみたい(水を結構飲まれていた)だが、どの質問にも真面目に答えていたのが印象的だった。

Autograph in OTAKON

トークイベント後は1時間の休憩をはさんでサイン会が行われた。

サイン会には多くのファンが列を作っていたが、女性の割合が日本に比べて若干多めだったことを記しておこう。サイン会に参加したファンは自ら持ってきた思い思いの品にサインをしてもらっていた。日本版のDVDや書籍などは言うに及ばず、セル画や非売品のPOPなど日本でも入手が難しいアイテムにサインをしてもらっている強者も。

なつかしの作品にまつわるグッズを持ってきている人も

いて、川澄氏も懐かしさを覚えていたようだ。

長時間の移動や緊張による疲れも見せず、一人一人の希望の品に丁寧にサインをし、希望するファンには慣れないアルファベットで名前を入れるサービスも行っていた川澄氏。サインをもらったファンも満足そうに会場を後にしていた。

川澄氏の OTAKON での活躍の報告もこれにて終了である。アメリカから帰国した川澄氏の今後の活躍に期待しよう。



(C) Love One's Home